

私立大学図書館協会 2006年度第1回東地区部会役員会
議事要録

日 時：2006年4月21日（金） 午後1時30分～午後2時50分

場 所：駒澤大学深沢キャンパス 洋館大ホール

出席者：龍谷大学（寺本、甲野）、国士舘大学（齊藤、渡辺、相田）、昭和女子大学（大串）、
東北学院大学（三浦）、立正大学（佐藤）、帝京大学（中嶋）、駒澤大学（松村、東、
奈良田、鈴木、秋沢、新井、川越）

議事に先立ち、部会長校駒澤大学松村図書館長より挨拶があり、その後、出席者の自己紹介が行なわれた。

議事進行は、部会長校松村図書館長が担当した。

議 事：

1．報告事項

（1）東地区部会関係

2005年度東地区部会会務報告

部会長校駒澤大学（東）より、資料（p.1-4）に基づき、2005年度東地区部会会務について報告され、了承された。

2005年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校国士舘大学（齊藤）より、資料（p.5-9）に基づき、2005年度東地区部会研究部活動について報告され、了承された。

（2）協会関係及び協会関連

第1回常任幹事会報告

部会長校駒澤大学（鈴木）より、2006年4月14日（金）に久留米大学で行なわれた第1回常任幹事会の報告が、資料（p.10-52）に基づき、議事次第に即して報告された。

2．協議事項

（1）2005年度東地区部会決算及び監査について

部会長校駒澤大学（奈良田）より、資料（p.53）に基づき、2006年度東地区部会決算について、前回の役員会において中間決算報告に変更のあった箇所の説明と4月6日に監事校の早稲田大学より監査を受け承認されたとの報告があり、協議の結果、承認された。なお、監査の際、早稲田大学より決算報告書の様式について変更案が提示され指導を受けたので、会長校の決算報告書に準じた形式に変更し2006年度の中間決算報告から提示していくこととする旨の補足説明があり、了承された。

(2) 2 0 0 5 年度東地区部会研究部決算及び監査について

研究部担当理事校国土館大学(渡辺)より、資料(p.55)に基づき、2005年度東地区部会研究部決算について、前回の役員会において中間決算報告に変更のあった箇所の説明と4月6日に監事校の早稲田大学より会計監査を受け承認されたとの報告があり、協議の結果、承認された。なお、監査の際、早稲田大学より研究分科会の次年度繰越金が高額となっているので減らす検討をしてほしい旨の指導を受けたとの報告があった。

また、部会長校から決算報告書の様式について早稲田大学より変更案の提示があったとの連絡を受け、部会報告と同様の形式に変更し2006年度の中間決算報告から提示していくこととする旨の補足説明があり、了承された。

(3) 2 0 0 6 年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について

部会長校駒澤大学(奈良田)より、資料(p.56-57)に基づき、2006年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について提案があり、協議の結果、原案どおり承認された。

(4) 2 0 0 6 年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について

研究部担当理事校国土館大学(齊藤)より、資料(p.58-59)に基づき、2006年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について提案があり、協議の結果、原案どおり承認された。

(5) 2 0 0 6 年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会の開催(案)について

部会長校駒澤大学(奈良田)より、資料(p.60-68)に基づき、2006年6月9日(金)に開催予定の「2006年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会」の会場校が鶴見大学の鶴見大学会館で実施することが提案され、了承された。

なお、当日の総会議長の選出については、前回の役員会で帝京大学を推薦し了承を得たが、当役員会においても改めて正式に推薦したいとの提案があり、了承された。

(6) 「役員校等選考に関する申し合わせ事項」の改定について

部会長校駒澤大学(松村)より、「役員校等選考に関する申し合わせ事項」を現在の協会活動の実情に合わせた形に改定したい旨の提案がなされ、協議の結果、原案どおり承認された。なお、この「役員校等選考に関する申し合わせ事項」の改定案については、引き続き、当委員会終了後に開催される「2006年度次期役員校選考委員会」の議を経て改正されるものとする旨説明があり、了承された。

なお、「私立大学図書館協会東地区部会役員校等選考に関する申し合わせ事項」の変更については、一部協会活動活性化策に伴う規程改正が前提となる。

< 改定箇所 >

2. 役員校等選考基準

(2) 「館長・事務長会議」の廃止に伴う条文を整備した。

3. 選考対象一覧

次のように変更した。

* 協会役員校..... 「館長・事務長会議」廃止に伴い、館長・事務長会議担当理事校を東北・北海道地区担当に変更。

* 会場校..... 総会会場校の開催地は、近年では東西地区連続2年で交替する形となっているため実情に合わせた。

* 協会委員会

研究助成委員会..... 委員は、これまで「協会賞・研究助成選考委員会」として構成員（審査員）も含め一体化してきた運営を改め、委員の兼務を取りやめ新たな委員構成を定めた。

3. 懇談事項

(1) 東北・北海道地区担当理事校の今後のあり方について

部会長校駒澤大学（松村）より、東北・北海道地区担当理事校の今後のあり方について、資料（p.71）に基づき、部会長校で検討が行なわれ、理事校の任務及び両地区の異なる地域性等を勘案し、両地区に理事校をおく案を北海道地区担当校に提示したが、北海道地区で検討した結果、部会長校からの提示案には合意を得るまでには至らなかった旨説明があった。部会長校としては、今後もこの問題を慎重に取り扱い、東北・北海道地区双方に対して意見聴取し、引き続き、検討していきたいとの見解が示された。

(2) 委員の交代について

部会長校駒澤大学（松村）より、2006年度の各種委員会委員及び協会関連団体委員会へ東地区部会から派遣している委員のうち、人事異動に伴い委員の交代があった旨の説明があり、了承された。

(3) 協会の事業計画について

部会長校駒澤大学（松村）より、協会の2006年度事業計画（案）である協会活動活性化策のひとつとして研究助成の制度拡大と協会賞の改善について種々検討が進められ、これまで「協会賞・研究助成選考委員会」として構成員（審査員）も含め一体化してきた運営を改め、「協会賞審査委員会」と「研究助成委員会」に再編成して活動を行うとの報告がなされた。

さらに、この協会活動活性化策に伴う規定改正等については資料（p.40-52）のとおり「協会賞授与規程」、「研究助成規程」の改正及び「『協会賞』の審査にあた

っての「協会賞審査委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項」ならびに「研究助成の審査にあたっての研究助成委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項」の変更について提案されているので、この規程改正について意見がある場合は5月12日頃を目処として意見をいただきたいとの発言があった。

また、この規程改正については6月9日開催の部会総会で東地区部会加盟館全体から意見聴取を行い、その後も6月中旬までFAXにて意見収集し、9月の総会に臨む予定であるとの補足説明がされた。

以 上